

- マースク A S、三菱ガス化学株式会社及び横浜市が国際海運の脱炭素化、国際コンテナ戦略港湾政策の推進及び横浜港におけるカーボンニュートラルポート形成を目指して、次世代船舶燃料としてのグリーンメタノールの横浜港におけるバンカリングの実施等の利用促進を目的に、令和5年12月に覚書を締結。
- 令和6年2月に公表された「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会 最終とりまとめ」において、個別施策の方向性の1つとして、メタノール等の次世代燃料のバンカリング体制について検討することが提示。
- これらの動向を踏まえ、東京湾におけるメタノールバンカリング拠点の形成に向けた検討を実施。

■横浜港におけるグリーンメタノールの利用促進に向けて覚書

- (1) メタノール燃料船の就航及び技術開発に関する知見を共有すること。
- (2) 船舶燃料としてのメタノール並びにグリーンメタノールの需要動向、生産、開発状況及び安全対策に関する知見を共有すること。
- (3) 横浜港におけるメタノール及びグリーンメタノールのバンカリング実施に向けて必要となる港湾施設の整備や運用に関すること。
- (4) 必要となる関係官庁との協議に関すること。



出典：横浜市港湾局 記者発表資料より抜粋

■東京湾におけるメタノールバンカリング拠点形成のイメージ



※需要動向に応じて東京湾内に立地する他の貯蔵基地の活用を想定。

- 東京湾内において想定される船舶用メタノール燃料供給事業者等にヒアリングを実施。
- メタノールバンカリング需要の初期段階においては、既存設備を活用することによって対応が可能。
- メタノールバンカリング需要の普及・拡大段階においては、大型バンカリング船※の建造やメタノール供給基地の機能強化（貯蔵タンクの増設・改造、出荷栈橋の能力増強）が必要。

段階	バンカリング船	メタノール供給基地
初期	既存内航ケミカルタンカー船の転用  (出典)国華産業株式会社HP ケミカルタンカー船の一例	東京湾内の既存基地を活用  MGCターミナル千葉事業所 (丸紅エネックス株式会社へ委託)
普及・拡大	大型バンカリング船※の新造  (出典)Manifold Times 大型バンカリング船の一例	貯蔵タンクの増設・改造 出荷栈橋の能力増強  貯蔵タンクの一例 (MGCターミナル木江事業所)

※基地間輸送などの内航海運にも利用可能。